

**NEWS RELEASE**

平成 20 年 7 月 1 日

**「環境戦略会議」を社内に設置**

株式会社電通（高嶋達佳社長）は、電通グループ全体の環境問題への取り組みをより一層推進していくため、7月1日より社内に、「環境戦略会議」を設置する。

昨今、地球環境問題は全ての企業にとって重要なテーマとなっている。電通グループはこれまでも、広告業界のリーディングカンパニーとして、環境問題に関する様々な自社の取り組み（\*1）はもちろんのこと、クライアント企業やメディアに対して様々な環境コミュニケーションに関わる企画・提案（\*2）を行ってきたが、電通グループとしてより一層スピードを上げてこのテーマに取り組んでいくために、高嶋社長を議長とする「環境戦略会議」を新たに社内に設置することとした。

「環境戦略会議」は電通及び電通グループ各社の各組織において行われている様々な環境問題への取り組みやビジネスを統括し、電通グループが環境戦略を積極的に推進していくための具体策を検討する。

今後、具体的には、「CO2 排出権の購入」や「廃棄物リサイクル率の向上」など、企業として環境負荷を軽減させる取り組みを強化することはもちろんのこと、クライアント企業やメディアに対し「カーボン・オフセット・コミュニケーション企画の実施」、「環境に配慮したイベント実施ガイドラインの設定」など様々な「環境コミュニケーションに関するソリューション」を積極的に提供していき、電通グループ総力をあげ環境問題に取り組んでいく。

**（\*1）これまでの電通自社関連の主な環境問題への取り組み**

- ・富士山再生エコ・コミュニケーション・プロジェクトを実施（2005年より）。  
（電通寄附講座として、早稲田大学に環境リーダーを育てる「富士山環境再生実践講座」を開講）
- ・電通オフィスからのCO2排出量を、2004年度に対して2009年度までに13%削減の目標を設定（2005年）。
- ・グリーン電力証書を合計125万kWh購入（2006年から2007年まで）。
- ・「世界エコ・サイエンスネットワーク会議」を実施（2007年）。  
（NPO法人「富士山測候所を活用する会」の協力を得て、米国海洋気象庁全球ネットワーク観測責任者のラッセル・シュネル博士等を招き、講演やシンポジウムを実施）
- ・国内全事業所及びグループ53社でISO14001を取得（2008年）。
- ・消費者の「環境意識と行動に関する調査2008」を発表（2008年）。
- ・電通本社ビルのCO2削減計画が、「東京都地球温暖化対策計画書制度」で最高評価AA+を獲得（2008年）。
- ・「企業と生物多様性イニシアチブ（JBIB）」に広告業界で唯一、加盟（2008年）。
- ・社名入り紙袋の使用数を削減するため、布製エコバッグを製作（2008年）

(※2) 電通が最近実施した主な環境コミュニケーションに関わる企画

- 「GREEN FILM PROJECT」の実施（2006年、2007年）。  
（TBSと共同して環境問題に関心の高い企業の協賛を集め、連続ドラマ型・連続トーク型のテレビCMを放映）
- 「エコトバ」の出版（2007年）。  
（日本の伝統的な暮らしや価値観にヒントを見つけ、環境行動を促す“ECO ジャパンスマイル”の理念を込めた書籍を小学館より出版）
- 「テレビローカル局にて視聴率連動型カーボンオフセット実験番組」を実施（2008年）。  
（番組視聴者数と番組視聴時間分の1人当たりの温室効果ガス削減目標を掛け合わせた分の温室効果ガス排出削減量をローカル局がオフセットするという番組企画を実施）
- 「地方紙にてカーボンオフセット広告企画を実施」（2008年）。  
（地方紙紙面にて、生活者に対し温室効果ガス1人1日1kg削減を啓蒙するメッセージを伝え、発行部数相当の人数×1人1日1kgの温室効果ガス相当量を、新聞社と広告主がオフセットするというカーボンオフセット広告企画を実施）
- 「エコポイントモデル事業」に採用（2008年）。  
（環境省が温室効果ガス削減のために、温室効果ガス排出量が少ない製品やサービスの購入・利用にあたって、ポイントを付与するエコポイントのモデル事業を募集し、電通は、スポーツイベントにエコポイントを導入し、消費者の環境行動を推進する事業モデルを提案し、採用された）

以上